



同窓会報
Uphill Road ~Sakamichi~

2022

令和4年
4月1日発行
〈 第23号 〉

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
同窓会

さかみちの会

■愛知県岡崎市中町1-8-4
■<https://www.okazaki.ac.jp>
■E-mail:doso@okazaki.ac.jp

* 2022 寅年を迎え

皆様、お元気でご活躍の事と存じます。日頃は同窓会にご理解とご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

『寅は孤独の象徴。節度ある寅の生き方は、私たちの分相応・汚さぬ・汚れる生活の指針になる。向上心を持ち一人葛藤をくり返す。やがて自らの傷の痛みが、人を傷つけないことを教えてくれる。それが心の深読みの糧ともなる。』

今年は、寅の強さと繊細さを心に留め、千里の道を駆ける寅の後ろからゆっくり進んで行こうと思います。

灯台山にある母校へと続く「さかみち」は学生時代誰もが通る、青春の足跡を受け止

めてくれた思い出深い道しるべとなりました。目標に向かい歩み続けた達成感は大きな力となり、友との絆は大切な宝物となりました。多くの方の思いの籠る母校が時代の変革に沿った魅力ある学びの場として、さらなる高みに向けて歩み続けていただきたいと思います。

全国の同窓生の皆様

自信と誇りを胸に、多くの卒業生の方々のご活躍の便りに心豊かな気持ちになります。近年は予想だにしない事が起きる変化の激しい時代となりつつあります。今後も母校と卒業生が両輪となり、活動の持続性がとても大切になるであろうと痛感しております。

岡崎女子大学・
岡崎女子短期大学同窓会
さかみちの会
会長
藤田 光子



す。会員の皆様の溢れる女子力に期待し、重ねてお力添えをお願い致します。

遠く離れていても心は密にして繋がり、いつも仲間の事・貴女の幸せを祈り、お会いできる日を待ちたいと思います。

最後に、母校の一層の発展を祈念しご挨拶いたします。

* 「学園の使命」に想う

さかみちの会の皆様には、つつがなくお健やかにお過ごしのことと思います。

2021年度は、前年度に続き、新型コロナウイルスのニュースを耳にしない日はなく、学内においても様々な対応を迫られた1年でした。withコロナを余儀なくされはしましたが、部分的な遠隔授業をはさみながらの対面授業の継続や、入学式を始め丘咲祭(大学祭)など、様々な行事についても、規模の縮小やメニューの変更を行い、可能な限り「できること」を実施してまいりました。去る3月18日の卒業式では、およそ360名の卒業生が、小学校教諭、幼稚園・保育所・こども園の保育者、医療関連の施設や金融を始めとする企業のビジネスパーソンとして、力強く羽ばたいていきました。就職率も、高い水準を保っています。これらは全て、さかみちの会の皆様がたゆまぬ応援と激励をお送りくださった賜物と、深く感謝申し上げます。本当に有難うございました。

さて、岡崎女子大学並びに岡崎女子短期大学、そして付属3幼稚園及び幼保連携型認定こども園たかねこども園を運営する学校法人清光学園は、2022年度から5年間の中期計画を策定しました。その名も「Seiko G Plan 2022-2026」と言います。

この中期計画は、次の「学園の使命」から始まっています。

学校法人清光学園は、建学の精神に基づき以下の人材を育成することを使命とする。

- 広い視野と公正で科学的な識見をもち、生涯にわたって活躍し続ける保育者・教育者
- 人として生涯活躍することの意義を理解し、社会の多様な変化に対応しながら子育て家庭を支える保育者・教育者
- 個性と自主性が尊重され、十分な自己発揮を通してバランスのとれた心身と非認知能力を身に付けた子ども

学校法人清光学園
岡崎女子大学
岡崎女子短期大学
理事長・学長
林 陽子



学校法人清光学園は、この使命を以て、社会の発展に寄与する。

この「学園の使命」は、これからの道しるべであると同時に、学園から巣立っていかれた方々の姿でもあります。私は、このことに深い感慨と学園への愛着を覚えざるを得ません。

私たち教職員はこれからも、「学園の使命」を果たすべく一丸となって教育活動を進めてまいります。今後とも岡崎女子大学、岡崎女子短期大学をお支えくださいますようお願いいたします。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

現代ビジネス学科(前 経営実務科)を振り返って

令和5年3月で学科を閉じる ～3,400人を超える卒業生～

経営実務科の沿革

岡崎女子短期大学創立20周年にあたる1985年(昭和60年)12月に経営実務科は設置認可され、翌1986年4月に「産業界に貢献できる『自立的な女性職業人』を育成することにより、有用な専門知識を授けた上で、それを具体的に産業界で実践できる能力を養成するものである。」を目的として設立されました。背景には同年4月に施行された「男女雇用機会均等法」の影響があったのでしょうか。目標を実現するための教育設備として「コンピュータ室・ワープロ室・秘書実習室・英文タイプライター室・LL教室」などの専用教室を使い、より実践的な教育効果を高めていきました。地域から求められる人材育成を続けてきましたが、時代の変化に伴い求められる人材も変化していきました。その期待に応えられるよう教育課程を見直すと同時に2013年(平成25年)学科名称を「現代ビジネス学科」と改称しました。



～現代ビジネス学科の閉科にあたって～ セレモニーのご案内



現代ビジネス学科 学科長
小宮 富子
在:昭和63年4月1日～

1986年(昭和61年)4月に現代ビジネス学科の前身である経営実務科が設置され、2013年(平成25年)には現代ビジネス学科へと名称変更がなされました。経営学やビジネス実務における優れた知識とスキルを持つ現代女性の

育成という本学科の理念は変わることがありませんでした。地域の金融機関、自動車関連企業、製造業、販売業、サービス業、病院・医療機関などで今も多くの同窓生が活躍しています。

しかし激動する時代変化の中で、岡崎女子短期大学にも新たな戦略が必要となり、2023年(令和5年)3月には本学科の37年間の歴史を正式に閉じることとなります。令和5年2月22日(水)には区切りとしての「クロージングセレモニー」を開催予定です。同窓生の方からも温かいお言葉をいただければと願っています。

経営実務科が新設されたころ



経営実務科元教員
松下 高明
在:昭和61年4月1日～
平成12年3月31日

学生の定員100人(一年目の入学者は4クラスで138人)で経営実務科がスタートを切ったのは、昭和61年(1986)春のことでした。入学式の4月8日は爛漫と桜が咲き誇り、あたかも開設を祝うがごときよき日だったことを覚えています。

この年は私個人の思い出といえば、2年生の『経営管理演習』という科目で使うビジネスゲームを開発し、実用化することが私に与えられた重要な課題でした。当初は開発は簡単にできると高をくっていましたが、短大生に適したシステムは頭で考えているほど簡単ではなく、困難を極めました。夏休みが終わったころまで試行錯誤の繰り返しで、やっと目途が立ったのが年末のことでした。年を越して1月に入って関係の先生方にお集まりいただき、システムの詳細を説明しながら、様々なご意見、ご提案をいただき、どうにか実用に耐えうる状態にまでこぎ着けることができました。このシステムは学生が10数名程度で1グループ作り、それを会社に見立てて生産、販売、財務(貸借対照表の作成まで)の一連のサイクルを回して数グループで業績を競うものです。ゲームを通して楽しく企業の経営の在り方を学ぶことを趣旨とするものでした。

あれから36年が経ちました。当時はまだ高度成長は続き、多くの果実がたくさん残っている時代でした。バブルを謳歌している間に経済社会の成長は途絶え、長い停滞の時期を迎え、今日に至りました。この間に世の中はすべてが激変し、大学経営も一段と難しさを増し、学科の存立も危ぶまれるような状況に立ち至ったのもやむを得ないことと思われれます。いま間違いなく新しい変革が望まれています。



「現代ビジネス学科(旧経営実務科)」,長い間本当にご苦労様でした。
同学科で学んだ多くの卒業生、そして私たち教職員も同様に、同学科に育てられ、成長し続けることができました。「現代ビジネス学科」はその使命を終えることになりましたが、地域社会に対するこれ迄の功績は、いつまでも私たちの記憶に残ることでしょう。
同学科の閉科に際して、あらためて感謝の意を表します。

岡部晴朗 元教員(昭和51年4月1日～平成23年3月31日)



秘書学の教員となったのは、経営実務科開講3年目でした。当時は学生が多く6クラスありました。
電話対応では、電話の掛け手、受け手となり練習しました。受け手は、復唱し、メモを取りながら聴くのが原則ですが、始めは、復唱はするがメモを取る手が動かず、受話器を置いた時、どこのどちら様からの電話であったかを思い出せないことがしばしばありました。
ここで学んだことが、役に立っていただうれしく思います。

河村眞澄 元教員(昭和63年4月1日～平成18年3月31日)



私は平成16年から8年間、旧名「経実」に勤務しており、顔写真で「あ！ヨネだ」と気づいた方も少なくないと思います。当時の思い出はなんといたっても現代GPという国のプロジェクトに選ばれて、今では普通となったネット通販の授業で盛り上がったことです。もう15年も前のことで当時の学生さんも30代半ば、時代の流れを感じますが、学科がなくなろうとも、私にとって皆さんと過ごしたオカタン思い出はいつまでも色褪せることはありません。

米本倉基 元教員(平成16年4月1日～平成24年3月31日)



感謝
勤務させて頂いた1年目はリーマン・ショックで就職指導が大変な時でもありました。しかし、先人たちの実績で乗り越えられたことに深く感謝をしています。私が、自らを律する言葉に「マネージメント」があります。仕事には使命感(ミッション)と情熱(パッション)、そして行動して結果を出す(アクション)。リズム的にも覚えやすい言葉です。
同窓会の一層のご発展を心から願っています。

深見邦夫 元職員(平成20年4月1日～平成27年3月31日)



同窓生の皆様、お元気ですか。貴学から他大学に転籍した今でも、SNSで近況をご連絡くださり、また結婚式にお招きいただくなど、大変感謝しております。社会で活躍される方や子育てに奮闘される方など、短大生の時と比べると、そのご成長ぶりを嬉しく、かつ誇らしく感じております。コロナ禍の今日ですが、いずれお会いできる日を楽しみにしています。皆様が、どうか元気で健康にお過ごしくださることをお祈り申し上げます。

河合 晋 元教員(平成21年4月1日～平成30年3月31日)



卒業生の皆さんいかがお過ごしでしょうか。現代ビジネス学科がその歴史を終えることになり、とても残念に思っています。
しかし、経営実務科・現代ビジネス学科が無くなる訳ではありません。それは皆さんの中に生きているからです。
皆さんが岡短で学んだ様々な「実務」は、皆さんの「考え方」や「見方」を規定する素養の一つとして、今も生活や仕事の中で育ち続けているはず。その素養を大切に、これからも皆さんの心の中で、守り育てていただけると幸いです。

町田由徳 元教員(平成21年4月1日～令和2年3月31日)



閉科はとても悲しく、寂しい思いでいっぱいですが、しかし、みなさんと過ごした日々は、私にとって大切な宝物です。河合ゼミとの合同合宿、クリスマスパーティー、大学祭など、数えきれないほどの思い出を作ってくれました。また、医療事務履修者が一丸となって資格取得に取り組み、多くの医療機関に羽ばたいていきました。本当にありがと。これからも、頑張ってください。遠く、宮崎の地から、みなさんのご多幸を心より祈っています。

黒野伸子 元教員(平成26年4月1日～令和3年3月31日)



平成26年4月から7年間、キャリア支援課にて学生の皆さんの就職のお手伝いと「金融論」の講義(3年間)を担当させて頂きました。全く文化の異なる金融業界からの転身で多くの戸惑いもありましたが、温かく迎えてくださった教職員の皆様と明るく元気な学生の皆さんのおかげで楽しく働かせていただいたことに感謝しております。そして各界で活躍されている現代ビジネス学科の卒業生の皆さんのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

桂 安治 元職員(平成26年4月1日～令和3年3月31日)



閉科にあたって
私が本学経営実務科に転職してきたのが平成18年(2006年)で、当時の新入生が120名を超え、情報基礎演習を4クラスに分けて行っていました。その後、入学者数の減少とともに、私も老化の一途をたどりましたが、学生諸君からは、元気をいっぱいもらいました。同僚の諸先生方とともに、おつきあいいただいた学生諸君にも深く感謝する次第です。

市原 潔 教員(平成18年4月1日～)



卒業生のみなさん、お元気ですか?簿記や経営実務演習、経営史など担当している祝田です。新型コロナウイルス感染症が拡大しているなか、卒業生のみなさんも生活や仕事が大変な時期かと思えます。こちら短期大学でも対応に追われながらの学びとなっていて、「閉科する」で寂しくというより、在校生とともに慌ただしい日々を過ごしています。振り返ると、卒業生のみなさんとも慌ただしい日々を過ごしなが、笑ったり、怒ったり、恥ずかしかったりしたこと思い出しました。

祝田 学 教員(平成14年4月1日～)



経営実務科第1期生として入学し、様々な経緯を経て、平成16年から本学で仕事をさせていただいております。まさか最後を迎える時が来るとは思いもしないで…
久しぶりに卒業アルバムを開きました。校舎や校庭、学生の服装、髪型。笑顔。どれも懐かしく一瞬であの頃に戻れる気がします。学科はなくなっても私たちが同窓生であることには変わりありません。これからも母校に足を運んでいただければ幸いです。懐かし話に花を咲かせましょう。

長野八千代 卒業生第1期生・職員(昭和63年3月卒業 平成21年10月1日～)



私が岡崎女子短期大学に入学してから約1年が経とうとしています。私は、就職する際に役に立つような資格やマナーを身に付けたいと思い、この学校に入学しました。入学後、少しずつですが、資格を得ることができ、ビジネスマナーも身につけてきているように感じます。まもなく本格的に就職活動が始まります。先輩方に続き、社会の一員となり、社会に貢献できるように学科最後の学生として残り1年の学生生活でしっかりと学びたいと思います。

原田莉緒 現代ビジネス学科 2年(学生・第36期生)

水と酒の街「京都伏見」

生越智子(旧姓 中神) 経営実務科 平成10年3月卒業

みなさま、こんにちは。

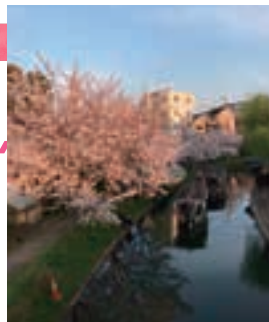
私は、経営実務科を卒業し、岐阜県の地方銀行で勤務した後、京都に本社を置く電気機器メーカーに転職しました。中国・タイ・アメリカ・オランダなどの海外拠点と連携したグローバルな業務を担当しています。京都本社への勤務を機に、京都で生活を始めて4年になります。



私の住む京都・伏見は豊臣秀吉によって整備された水運の拠点としても有名なんです。十石舟が、宇治川派流の濠川をめぐる遊覧船として運航されており、春は見事な桜、夏は新緑の柳、秋は紅葉と、どの季節も楽しむことができます。

四季折々の景色に挟まれた水面をゆっくりと静かに進む舟からは、昔ながらの風情を残す酒蔵の町を望むことが出来、不思議と心が落ち着きます。

コロナウイルスへの注意が欠かせない日々が続いて、今は外出や旅行も難しいですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りましたら、みなさんもぜひ遊びに来て下さいね。



桜咲く宇治川派流の濠川

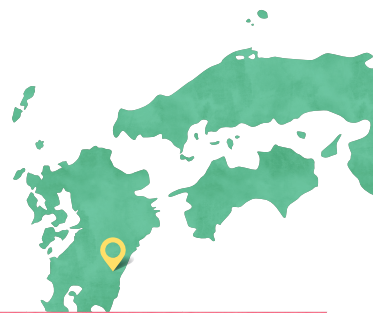


新緑の柳と濠川の遊覧船

あなたにと
令和

ほっと

20



緑多寺国富町

今東富士子(旧姓 上床) 幼児教育学科第三部 昭和55年3月卒業

中学校を卒業後、都会にあこがれて愛知県安城市に就職しました。当時、田畑の多い町だったと記憶しています。定時制高校4年、岡短に3年通いました。朝5時から仕事、午後学校で忙しかったのですが、先生方も優しく、とても楽しい学生生活でした。学校では、本多先生が椅子に座り迎えてくださる姿もあり、先生が4年制大学にしたいとおっしゃっていたので、岡崎女子大学の報道を見たときは本当に嬉しかったです。今は、九州農産(株)で漬物の会社で働いているのですが、いつも働く中で常に心に思っている言葉が「その場になくなくてはならない人になれ」でした。漬物も海外に出荷しており、年々出荷数も増えています。グループ会社になる東海漬物(株)が豊橋市にあることも、岡短を思い出し嬉しくなります。国富町は、18000人程の人口で農業が主流ですが、式部の里という農産物の直売所があり楽しいです。学校の記憶が薄れなかったのは、さかみちを長年作成して下さった方々のおかげです。ありがとうございました。



九州農産(株)の前にて



農産物の直売所

学びと幸せの街! 知立市。

神谷奈生美 人間福祉学科 平成21年3月卒業

私は、2009年に岡崎女子短期大学 人間福祉学科を卒業し、様々な道を経て今現在は特別養護老人ホームの中にあるショートステイで仕事しております。利用者様から「ありがとう。」と言われる度にこの仕事をしている意味と喜びを感じる日々を過ごしております。

私の住んでいる知立市は、図書館の中に歴史民俗資料館があり、縄文時代から激動の昭和時代そして現代に至るまでの生活の様子、日本国の時代の変化、幾度とくる困難を人々は知恵を出し前向きに生きてきたのか? コロナ禍にどのように先人の知恵を活かして行けば良いのかを感じることができます。

他にも、あんまきが知立名物であり、小松屋本家や藤田屋大あんまきは、昔からとても有名です。

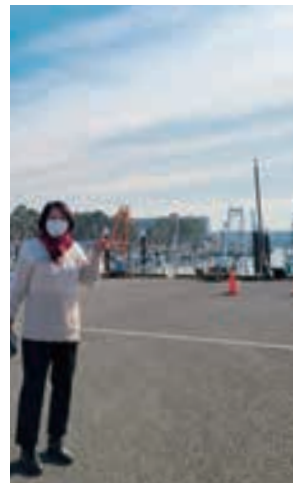
その他にも、和菓子や弘法通りのうなぎ屋など知立市には、古き良きお店が沢山あり、食べると「仕事頑張って良かった。」など幸せを感じることが出来ます。感染対策もしっかりされているので安心して知立に遊びに来て下さい!



知立のイメージキャラクター ちりゅび



知立祭りです。ユネスコ無形文化遺産になりました。



金沢区の漁港。奥に八景島シーパラダイス。



北海道 名寄市

寒くて暑い街

小林昌枝 幼児教育学科第三部 昭和52年3月卒業

私の住んでいる名寄市は、北海道の北に位置し、冬場の冷え込みは厳しく雪も多く雪かきに息が上がる事もしばしばです。最近-30度になる事は無くなりましたが、晴れていても日中の気温が上がらず空気がピーンと張っている時は、吐く息も白くダイヤモンドダストも見ることができます。雪溶けが始まると庭で一番先に咲く花を心待ちにし、その後はアスパラをはじめ地元産の野菜を口にする事ができます。夏は暑く特に最近の暑さは湿度も高く昨年は30度を超える日があり、クーラーのない我が家では辛い思いをしました。北海道特有のカラッとした夏が少なくなっているように感じます。夏の暑さは冬の寒さよりも辛いです。



木立と雪を背景に

現在、高齢の母と2人暮らしで、介護老人福祉施設を退職し、同じ施設の事務所でパートとして働いております。また、本場の地である徳島から高円寺へ、高円寺から友好交流都市である名寄市へと伝わった阿波踊りを日本の最北の地で「連」を組み楽しんでおります。



少々吹雪の中、名寄市立天文台「きたすばる」前にて

厳しい自然環境ですが住み慣れた地でこれからも暮らして行きたいと思っています。

茨城県 守谷市

魅力あります茨城

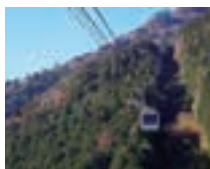
高野真奈美 (旧姓 深川) 幼児教育学科第一部 昭和61年3月卒業

茨城県守谷市に住んでいます。コンパクトでのどかさもありながら、電車に乗れば、30分で東京都内まで気軽に出られる住みやすい街です。コロナ禍になる以前は、電車で趣味の美術館めぐりなども楽しんでいました。茨城県の筑波山をご存知でしょうか？関東平野の中にあるため、遠くからでも見ることができる山で、ハイキングがおすすめです。



ヒロサワ美術館にて

岡短で幼児教育や保育を学び、はや35年ほど経ちました。卒業後、豊橋の児童福祉入所施設に就職しました。現在の学長でいらっしゃる林先生が当時の担任の先生でした。親身に相談にのっていただいたことを覚えています。結婚を機に茨城県に引っ越しましたが、30代になってから更に社会福祉や心理について学ぶ機会にも恵まれました。現在は、たくさんの幼稚園、保育園やこども園を巡回しながら、保育の現場にいらっしゃる先生方の相談をお受けする仕事などを行っています。今でも私のベースになっているのは、岡短での学びであったと思い、懐かしさと感謝の気持ちです。



筑波山ロープウェイ

福島県 いわき市

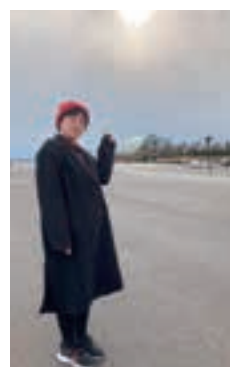
福島ま ころんしょ!

吉田彩夏 子ども教育学部 令和3年3月卒業

私は現在、福島県いわき市の小学校教員として働いています。1年目となった昨年度は3年生のクラス担任でした。日々の授業づくり、子ども達との関わり、保護者や地域の方々との関わり、市や県が主催する初任者研修への参加など、忙しく、目まぐるしくも、楽しく充実した1年を過ごすことができました。

今年度からは教員生活2年目がスタートします。最初の1年間で経験したこと、教えてもらったこと、失敗や成功などを活かして、これからも真摯に子ども達と向き合っていきます。

最後に、福島県は2011年に発生した東日本大震災とその後の原子力発電所事故、そして事故に伴う風評被害などで大きな被害を受けました。しかしながら



水族館『アクアマリンふくしま』(右奥建物)前にて

様々な活動の積み重ねにより、少しずつ復興に向けて歩みを進めています。コロナが終息したら、「福島ま ころんしょ!」(福島へ遊びに来てください!)待ってるでね!!

様々な産業と歴史の街・横浜

千葉絹子 (旧姓 上井) 初等教育学科 昭和51年3月卒業

お話を頂き、初等教育学科一期生(S組)として、先生方と一丸になって小学校教諭になる為に取り組んだ日々を思い出しました。卒業後は教職に就き、5年後に結婚し退職。横浜に転居しました。その後は、在職中から取り組んでいた卒論を書き上げ、玉川大学文学部を通信教育課程で卒業しました。そして、娘達の中学受験が終わった年に、再び教職に就き、今も続けています。出会った方々に感謝する日々です。



とれたての太刀魚でできた「太刀魚立ち丼」

横浜市は、工業地帯や横浜駅周辺の華やかな風景だけでなく、様々な産業と歴史が現存する街だと思っています。市内には、広い公園が点在し、緑豊かです。その上、農専地区があり、田畑・果樹園に牧場もあります。牧場直営のアイスは、絶品です。また、臨海部には、漁港があり、獲れたての魚貝類を購入できます。この様に様々な産業が成立している街です。産業だけでなく、市内には、古墳や鎌倉時代の寺社が多く、宿場跡や眞葛焼窯場跡等数多くの史跡が現存し、古(いにしえ)を感じます。



令和4年度

燈台もとくらし講座のご案内

皆様多数のご参加
お待ちしております!



講座
1

生活を豊かにするおもちゃ

日時 令和4年8月4日(木) 18:00~19:00

講師 岡崎女子短期大学 講師 奥園知明先生

※受講者負担なし



講座
2

音楽を聴いて感じてみましょう

日時 令和4年9月15日(木) 18:00~19:00

講師 岡崎女子大学 教授 北浦恒人先生

※受講者負担なし



講座
3

腰と膝の痛み軽減の軽運動とマッサージ

日時 令和4年10月13日(木) 18:00~19:00

講師 岡崎女子大学 特任教授 春日規克先生

※受講者負担なし

対象 さかみちの会会員
(岡崎女子大学・岡崎女子短期大学同窓生、教職員)

場所 同窓会室

定員 先着各25名

申込締切日 各講座の1か月前まで。但し定員になり次第締め切ります。

申込先 さかみちの会 同窓会学内幹事
✉ doso@okazaki.ac.jp
☎ 0564-28-3317

申込方法

【メールの場合】件名「燈台もとくらし講座申込」、本文に希望講座番号、お名前(旧姓)、卒業年度(○年3月卒)、〒、ご住所、電話番号を入力し送信してください。複数申込者がいる場合は、代表者のお名前と参加者のお名前をお知らせください。

【電話申込の場合】上記までお電話ください。

※この個人情報、他に転用することはありません。

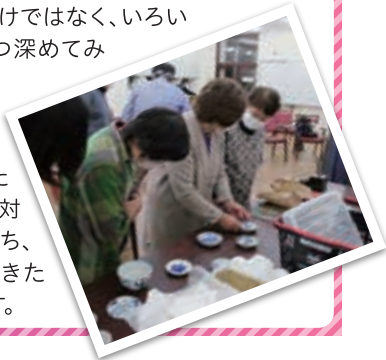


岡田真智子
幼児教育学科第一部
昭和49年3月卒業

令和3年度燈台もとくらし講座 「古伊万里染付入門」に 参加して

焼物に興味があり、講師の先生が以前勤めていた職場が同じであったこともあり講座に参加させていただきました。私は茶道を趣味としており、お茶会等の席で、お道具の説明や茶碗の名に対し、周りの方々の知識の豊富さに感嘆していましたが、その場限りで過ごしてきました。講座では、講師の石川先生のユーモアを交えた話に引き込まれ、楽しいひと時のなか、以前から好きな藍色の小皿、蕎麦猪口が伊万里焼だと恥ずかしながら知ることができました。また、伊万里焼は明治以降の物は伊万里、それ以前江戸時代のものを古伊万里という知識を得ることで、趣味の茶道に対する姿勢を改め、興味関心を持つだけではなく、いろいろなことを少しずつ深めてみようと感じました。

今までは、余裕なく生活や仕事に追われる日々でしたが、今後の人生に対し、心にゆとりを持ち、豊かに過ごしていきたいと思った次第です。



卒業生が教壇に立つ

卒業生が本学の専任教員として、
後輩指導にあたっています。



小原幹代
岡崎女子短期大学 幼児教育学科 准教授

長いさかみちを、自転車を引いて汗をかきながら登った日から、早40年以上の月日が経ってしまいました。保育者になりたいという強い希望もなく、自信もなかった私が「保育」という仕事に携わることになるとは夢にも思いませんでした。「保育」という営みの面白さや奥深さに気付かせてくれたのは、お世話になった素晴らしい先生方や友でした。そして同窓会の先輩方には現場管理者としての心得を教えていただき、励ましていただきました。保育の形や流れは時代と共に変わっても、根底にある子どもの好奇心溢れる眼差しや笑顔は変わりません。子どもという存在のすばらしさや保育の面白さを、今は学生たちに伝えたいと思い、試行錯誤する日々です。各地域で活躍している同窓生の皆様の姿を耳にし、目にする時、岡短育ちの繋がりを感じ、誇らしく感じています。今後も、誰かのためにという姿勢を持って努力できる人材を育てる大学であり続けたいと願い、微力ですが尽力したいと思っております。

長いさかみちを、自転車を引いて汗をかきながら登った日から、早40年以上の月日が経ってしまいました。保育者になりたいという強い希望もなく、自信もなかった私が「保育」という仕事に携わることになるとは夢にも思いませんでした。「保育」という営みの面白さや奥深さに気付かせてくれたのは、お世話になった素晴らしい先生方や友でした。そして同窓会の先輩方には現場管理者としての心得を教えていただき、励ましていただきました。保育の形や流れは時代と共に変わっても、根底にある子どもの好奇心溢れる眼差しや笑顔は変わりません。子どもという存在のすばらしさや保育の面白さを、今は学生たちに伝えたいと思い、試行錯誤する日々です。各地域で活躍している同窓生の皆様の姿を耳にし、目にする時、岡短育ちの繋がりを感じ、誇らしく感じています。今後も、誰かのためにという姿勢を持って努力できる人材を育てる大学であり続けたいと願い、微力ですが尽力したいと思っております。



水野恭子
岡崎女子大学 子ども教育学部 講師

学生時代は、「児童文化研究部はとぼっぼ」に所属し、部員と青春を共にしました。また、クラス一丸となった幼児教育祭やアメリカ海外研修も母校を語る上で、忘れられない思い出となっています。幼児教育学科を卒業後、他大学の児童学科へ編入しました。大学卒業後、岡崎市の保育士として公立保育園でお世話になり、諸先輩方からご指導をいただく中で、保育の奥深さや面白さを感じながら、同僚と切磋琢磨し、保育の研鑽を積むことができました。振り返ってみますと、現在の私の人生を保育の道へと方向づけ、育ててくれたのは、母校、岡短です。母校で過ごした2年間の学びや経験は、現在の私自身の仕事や生活の中で繋がりをもち、多くの豊かさをもたらしてくれていると感じています。

水野恭子先生(手前中央)

母校へ着任して3年が経とうとしています。学生時代と同じように坂道を登りながら、正門の先に見える本多由三郎先生の石碑を拝見しています。「大学を愛し、学生を愛し、己自らを愛する…」そのお言葉は、学生時代とは違う意味をもって現在の私の心に響いてきます。微力ながらではございますが、保育者養成教育に邁進して参ります。同窓会の皆さま、今後とも引き続き、どうぞよろしく願い申し上げます。



三河保育研究会 「さんぽの会」は会員募集中です!



三河保育研究会「さんぽの会」は本学の同窓生を始め、三河地域で働く保育者の方々と養成校が一緒になって、保育を語り合い、学び合える場を作りたいという思いから設立した会です。会員登録は無料です。企画した研究会や交流会、ワークショップなどの情報をお送りします。現在は100名ほど会員登録をいただいています。市町村の子育て支援に関わる方や、保育所、幼稚園、学童保育、院内託児所など現場の先生方が参加して交流会が行われました。8月には「コロナ禍の保育を考える」と題し、第1回交流会が開催され、現場の先生方の保育を考える思いや交流、情報交換もでき、有意義な会となりました。

同窓会の皆様にも、多くの方にご入会いただき「さんぽの会」を盛り立てていただけるようお願い申し上げます。現職の方に限らず「子育て中の方」も「子育ての終わった方」、「保育に関心のある方」どなたでもご入会いただけます。入会受付は随時行なっています。岡短Webサイトより入会フォームにお入りください。



▲入会フォームはこちらから

「オカタン子どもサポーター」始めます!



令和3(2021)年度より、岡崎女子短期大学幼児教育学科では、在学中に幼稚園や保育所などでアルバイトをしながら実践力を身に付けることを目的に、「オカタン子どもサポーター」という学内資格を出しています。この資格は「保育ベーシック(選択科目)」と「教育実習I」を修了した学生が取得できるもので、その学生には積極的に幼稚園や保育所などでアルバイトをすることを勧めています。特に三河地区には、本学からのたくさんの先輩方が保育者としてお勤めです。大学内の授業や実習以外にも、実際に保育現場でご活躍されている先輩から学ぶことができ、歴史と伝統ある本学の特色です。

今後保育者を目指す学生が、先輩方の園でお世話になることがあるかと思えます。未来の保育を担う学生に、温かいご指導をいただけますようお願い申し上げます。



オカタン子どもサポーターのみなさん

ご存じですか? とってもお得な制度

減免 同窓子女減免制度

入学金が半額免除されます。同窓子女とは、岡崎女子大学および岡崎女子短期大学に在籍中の者または岡崎女子大学および岡崎女子短期大学に在籍した者の二親等内の親族(婚姻を除く)または岡崎女子短期大学付属幼稚園の卒園者です。

※出願時に「同窓子女証明書」の提出が必要です。

減免 社会人減免制度

社会人入試で合格すると入学金が半額免除されます。岡崎女子大学または岡崎女子短期大学の卒業生は入学金が全額免除となります。

給付 愛知県外出身者支援奨学金制度

愛知県外に在住しており、入学後は自宅外または県外の自宅から通学する学生に対して支給される本学独自の奨学金です。(入学手続き時および進級時に審査があります) 毎月の交通費や家賃をサポートをします。

支給期間 原則として正規在学期間 ※毎年進級時に受給資格の継続審査があります。

支給金額	岡崎女子大学	岡崎女子短期大学	岡崎女子短期大学
	子ども教育学科 合計 96万円 ※年額24万円	幼児教育学科第一部 合計 36万円 ※年額18万円	幼児教育学科第三部 合計 36万円 ※年額12万円

選考方法 入学手続き時提出していただく申請書類に基づき、受給資格について審査し、入学後に正式決定。

支給方法・時期 入学後、年額を6月と12月の2回に分けて支給します。

- 申請条件**
- ①本学の入学試験(社会人入試、協力企業特別推薦入試は除く)に合格し、入学する者
 - ②愛知県外(国内)の高等学校または中等教育学校(いずれも通信制を除く)を卒業見込みの者、または卒業した者
 - ③本人と生計を同じくする父母または父母の代わりに生計を支えている者が愛知県外に居住し、入学後は自宅外(下宿)または県外の自宅から通学する者
 - ④③の同一世帯・同一生計者の「最新の市区町村発行の所得証明書」記載の収入・所得金額を合算した金額が右記に該当する者/給与・年金収入金額:(課税前)840万円未満/その他、事業所得金額:350万円未満



入学試験に合格し、
入学する者



愛知県外の高等学校を
卒業した者



生計を同じくする父母等が
愛知県外に居住する者



同一世帯の収入等が
840万円未満の者

令和4年度 同窓会総会・講演会のご案内

okajo・okatan
おいでん!

日時 令和4年 5月15日(日)

9:30～ 同窓会総会受付開始
10:00～ 同窓会総会
10:40～ ダンス部発表
11:00～12:30 講演会



講師 chikoさん DIYクリエイター インテリアデザイナー

DIYで作って暮らす
～自分らしく暮らすこだわりのライフスタイル～

場所 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 SKホール



chiko

Profile

DIYクリエイター インテリアデザイナー。
22年前に購入した、築10年の中古住宅を修繕する為にはじめたDIYにのめり込み、家具や雑貨も制作を開始。
ブログやSNSや動画で作り方を発信したところ、そのスタイルが認められ著書も出版。
雑誌、テレビやラジオのDIY企画にも多数出演。
活動の場は全国へと広がり、現在は新築モデルルームのデザインや、DIY工房、空き家DIYプロデュースなど多岐にわたり活動中。



◎インスタグラム WAGONWORKS (11.9万フォロワー)
◎著書『let's diy! カフェみたいなお家を作ろう』宝島社



無料 予約制

応募方法



ハガキの場合

必要事項をご記入のうえ、ご応募ください
①氏名(旧姓)②郵便番号③住所④電話番号(携帯電話など必ず連絡のとれる番号)⑤メールアドレス⑥令和4年度発送番号(宛名タックシール右下に記載してある番号)
送付先:〒444-0015 愛知県岡崎市中町1-8-4 さかみちの会 宛



メールの場合

件名は「講演会申込」、本文に上記ハガキの場合と同様①～⑥を入力し送信してください。

E-mail: doso@okazaki.ac.jp



ウェブ申込フォームの場合

右記のQRコードよりアクセスして、フォームの項目に入力の上、送信してください。



締切日: 令和4年4月28日(木)

定員を超える応募者多数の場合は抽選となります。ご了承ください。
同窓会員以外の方もご入場できます。
講演会は予約制です。講演会のチケットは後日郵送します。

※この個人情報、他に転用することはありません。

※駐車場には限りがございます。できる限り公共交通機関でお越しください。

※総会・講演会は、感染予防対策を実施して行います。ただし、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、中止となる場合があります。

令和4年度同窓会幹事会及び新幹事歓迎会について

令和4年4月3日(日)に予定していました「幹事会及び新幹事歓迎会」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が必要である社会状況を踏まえ、中止といたします。幹事、新幹事の皆様には今年度ご案内をしておりませんので、ご承知おきください。

本多由三郎先生記念教育振興基金に寄付をしました

新型コロナウイルス感染の収束の兆しも見えない状況がまだまだ続いています。

同窓会として、こうした未曾有の状況への対応や研究の充実を支援するため、母校に支援できればと考え、100,000円を学園に寄付をしたのでここに報告いたします。

同窓生の皆さんへ 卒業後の図書館利用について

卒業後も図書館の利用ができます

図書館は集中して調べ物や勉強するのにとってもいい!

「専門的な資料」「実用的な資料」「気分転換になる読み物」などたくさんありますので、ぜひ卒業後も図書館を活用してください。

休館日や開館時間は、「岡崎女子大学・岡崎女子短期大学のHP」▶menu内の「図書館」▶「図書館カレンダー」で確認してください。



利用方法

- 入館(閲覧)のみの場合は、そのまま利用できます。(警備室での受付は必要となります。)
- 貸出を希望する場合は、図書館カウンターで「利用申請書」の記入をしてください。「利用者証」を発行します。発行には、「身分証明書」が必要です。自動車免許証・保険証等ご持参ください。

同窓会報発行協力金についてのお礼とお願い

今年も同窓会報「さかみち」を発行することができました。これも同窓生の皆様によるご支援の賜物と感謝しております。本同窓会は新加入者の会費で運営され、その大半は総会や講演会案内などの通信費に使われます。毎年増加する会員の皆様に向けて、会報をより充実していくためにも皆様のご協力が不可欠となります。令和3(2021)年度、98名の方より、411,500円のご支援を賜りました。ここにご報告させていただきます。ご支援ありがとうございました。

今年も払込用紙を同封させていただきましたので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

振込先●郵便局
(口座番号)00850-6-188481
(加入者名)さかみちの会

協力金 ●一口 1,000円以上

この指止まれ!

母校、同窓会との繋がりを!

同窓会事務局では、同窓生の名簿を管理しています。会報や総会のご案内など会員の皆様にお届けしておりますが、毎年改姓等により住所などご不明になる方が多数いらっしゃいます。

改姓や住所変更などがございましたら、事務局までお知らせください。

同窓会事務局 学内幹事
住所: 〒444-0015 愛知県岡崎市中町1-8-4
電話: 0564-28-3317 E-mail: doso@okazaki.ac.jp

※個人情報の取り扱いには、細心の注意を持って管理しています。同窓会の総会案内・会報の送付、就職支援活動の情報提供に必要な範囲で使用します。